

礼拝メッセージフィードバック

＜今日の聖書箇所は…＞

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をあがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2025.10.20-26

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）
- ④預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

7:1 ダレイオス王の第四年、第九の月、すなわち、キスレウの月の四日に、ゼカリヤに【主】のことばがあった。

7:2 そのとき、ペテルは【主】の御顔を求めるために、サル・エツェルとレゲム・メレクおよびその従者たちを遣わして、

7:3 万軍の【主】の宮に仕える祭司たちと、預言者たちに尋ねた。「私が長年やってきたように、第五の月にも、断食をして泣かなければならないでしょうか。」

7:4 すると、私に次のような万軍の【主】のことばがあった。

7:5 「この国のすべての民と祭司たちにこう言え。この七十年の間、あなたがたが、第五の月と第七の月に断食して嘆いたとき、本当にこのわたしのために断食したのか。

7:6 あなたがたが食べたり飲んだりするとき、食べるのも飲むのも、自分たちのためではなかったか。

7:7 エルサレムとその周りの町々に人が住み、平和であったとき、またネゲブやシェフェラに人が住んでいたとき、【主】が先の預言者たちを通して告げたことばは、これらのことではなかったのか。」

7:8 それから、ゼカリヤに次のような【主】のことばがあった。

7:9 万軍の【主】はこう言われる。「真実のさばきを行い、誠意とあわれみを互いに示せ。

7:10 やもめ、みなしご、寄留者、貧しい者を虐げるな。互いに対して、心の中で悪を企むな。」

7:11 ところが、彼らは拒んでこれを聞こうともせず、肩を怒らせ、その耳を鈍くして聞き

入れなかった。

7:12 彼らは心を金剛石のようにし、万軍の

【主】がその御霊によって先の預言者たちを通して送られた、みおしえとみことばを聞き入れなかった。そのため、万軍の

【主】から大きな御怒りが下った。

7:13 「彼らは呼ばれても聞かなかった。そのように、彼らが呼んでも、わたしは聞かない——万軍の【主】は言われる——。

7:14 わたしは、彼らを知らないすべての国々に彼らを吹き散らした。この地は、彼らが去った後荒れすたれ、行き来する者もいなくなった。こうして彼らはこの慕わしい国を荒れすたせさせた。」

イスラエル人は捕囚として異国にいる間、エルサレム陥落に伴う苦しみを覚えるために、念に4回の断食をしていました。それは良いことではありませんが、神様はそれらが形骸化していることを指摘なさいます。

神様は断食をやめよとは言われません。しかし「真実のさばきを行い、誠意とあわれみを互いに示せ。やもめ、みなしご、寄留者、貧しい者を虐げるな。互いに対して、心の中で悪を企むな。」と命じられて、主に従うことを大前提にした断食を求めておられます。

私たちは信仰の習慣が形骸化してはいないでしょうか。主に従わないで、信仰の行いだけをしているなら、それは欺きになってしまいます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



21日 火曜

ゼカリヤ



8:1 次のような万軍の【主】のことばがあった。

8:2 万軍の【主】はこう言われる。「わたしは、シオンをねたむほど激しく愛し、激しい憤りをもってこれをねたむ。

8:3 ——【主】はこう言われる——わたしはシオンに帰り、エルサレムのただ中に住む。エルサレムは、真実の都と呼ばれ、万軍の【主】の山は、聖なる山と呼ばれる。

8:4 ——万軍の【主】はこう言われる——再び、エルサレムの広場に、老いた男、老いた女が座り、みな長寿で手に杖を持つ。

8:5 都の広場は、男の子と女の子でいっぱいになる。子どもたちはその広場で遊ぶ。

8:6 ——万軍の【主】はこう言われる——もし、これがその日に、この民の残りの者の目には不思議に見えても、わたしの目には、不思議に見えるだろうか。——万軍の【主】のことば。」

8:7 万軍の【主】はこう言われる。「見よ。わたしは、わたしの民を日の出る地と日の沈む地から救い、

8:8 彼らを連れ帰り、エルサレムのただ中に住ませる。このとき、彼らはわたしの民となり、わたしは真実と義をもって彼らの神となる。」

8:9 万軍の【主】はこう言われる。「勇気を出せ。万軍の【主】の家である神殿を建てるために基が据えられた日以来、あなたがたはこれらのことばを、預言者たちの口から聞いてきたではないか。

8:10 その日以前は、人の働きに報酬がなく、家畜の働きにも報酬がなかった。出て行く者

にも、帰って来る者にも、敵がいるために平安がなかった。わたしがすべての人を互いに争わせたからだ。

8:11 しかし今、わたしはこの民の残りの者に対して、かつての日々ようではない。

——万軍の【主】のことば——

8:12 それは、平安の種が蒔かれ、ぶどうの木が実を結び、地が産物を出し、天が露を滴らすからだ。わたしはこの民の残りの者に、これらすべてを受け継がせる。

8:13 ユダの家よ、イスラエルの家よ。あなたがたは国々の間でろいとなったが、同様に、わたしはあなたがたを救う。あなたがたは祝福となる。恐れるな。勇気を出せ。」

8:14 まことに、万軍の【主】はこう言われる。「あなたがたの先祖がわたしを怒らせたとき、わたしはあなたがたにわざわいを下そうと決意し——万軍の【主】は言われる——わたしは思い直さなかった。

8:15 そのように、今や再び、わたしはエルサレムとユダの家に幸いを下そうと決意した。恐れるな。

8:16 これがあなたがたのなすべきことだ。あなたがたはそれぞれ隣人に対して真実を語り、真実と平和をもたらず公正さをもって、あなたがたの門の中でさばきを行え。

8:17 互いに心の中で悪を謀るな。偽りの誓いを愛するな。これらはみな、わたしが憎むものだからだ。——【主】のことば。」

エルサレムは回復します(1-8)が、それには民のはたすべき義務があります(16-17)。癌時期さえも楽しみとなる(19)ような恵をいただけるのですから、みこころを果たしましょう。

主はあわれみぶかいかたであり、わたしたちを助けてくださいますが、それは主の聖なるみ旨に沿ってではなくてはなりません。み旨に沿って、主の助けを求めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 22日 水曜

ゼカリヤ



8:18 さらに、私に次のような万軍の【主】のことばがあった。

8:19 万軍の【主】はこう言われる。「第四の月の断食、第五の月の断食、第七の月の断食、第十の月の断食は、ユダの家にとって、楽しみとなり、喜びとなり、うれしい例祭となる。だから、真実と平和を愛しなさい。」

8:20 万軍の【主】はこう言われる。「再び諸国の民がやって来る。多くの町々の住民が。

8:21 一つの町の住民はもう一つの町へ行き、『さあ行って、【主】の御顔を求め、万軍の【主】を尋ね求めよう。私も行こう』と言う。

8:22 多くの国の民、強い国々が、エルサレムで万軍の【主】を尋ね求め、【主】の御顔を求めるために来る。」

8:23 万軍の【主】はこう言われる。「その日には、外国語を話すあらゆる民のうちの十人が、一人のユダヤ人の裾を固くつかんで言う。『私たちもあなたがたと一緒に行きたい。神があなたがたとともにおられる、と聞いたから。』」

イスラエル回復の預言は喜びの礼拝へとつながってゆきます。このように礼拝は喜びなのです。私たちにとってそれは、本当の回復であるところの赦しと永遠のいのちであり、天国の約束です。ですから私たちの礼拝もそれは喜びそのものです。

礼拝でもっと喜びを表したいですし、礼拝そのものが喜ばしいものとなる必要があります。それは「外国」の人々のような外の人々を招くためでもあります。つまり伝道にもつながるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



23日 木曜

ゼカリヤ



最終的な主の勝利を信じて期待しましょう。また主に委ねましょう。そして主に従いましょう。

9:1 宣告。【主】のことはバダラクの地にあり、ダマスコは、それがとどまる場所。
【主】に向けられるのは、人々の、そしてイスラエルの全部族の目。
9:2 これに境を接するハマテや、非常に知恵のあるツロやシドンの目も。
9:3 ツロは自分のために砦を築き、銀をちりのように、黄金を道端の泥のように積み上げた。
9:4 見よ。主はツロを占領し、その富を海に打ち捨てる。ツロは火で焼き尽くされる。
9:5 アシュケロンは見て恐れ、ガザも大いにもだえる。エクロンもだ。自分たちが頼みにしていたものが辱められたからだ。ガザから王が消え失せ、アシュケロンには人が住まなくなる。
9:6 アシュドデには混血の民が住むようになる。わたしはペリシテ人の誇りを断ち切り、
9:7 その口から流血の咎を、その齒の間から忌まわしいものを取り除く。彼も、私たちの神のために残され、ユダの中の一酋長のようにになる。エクロンもエブス人のようになる。
9:8 わたしは、わたしの家のために、行き来する者の見張りとして衛所に立つ。もはや、虐げる者はそこを通らない。今わたしがこの目で見ているからだ。

神様は敵をさばいてくださいます(1-8)。ここでは異教の神々である偶像が滅ぼされる様子が預言されています。このように主の勝利は偶像の滅びと一体です。私たちは何が自分の偶像になっているかを見極める必要があります。

主のようにいやそれ以上に頼みとしているものはないでしょうか。主を礼拝するよりも優先しているものはないでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



24日 金曜

ゼカリヤ



9:9 娘シオンよ、大いに喜べ。娘エルサレムよ、喜び叫べ。見よ、あなたの王があなたのところに来る。義なる者で、勝利を得、柔和な者で、ろばに乗って。雌ろばの子である、ろばに乗って。

9:10 わたしは戦車をエフライムから、軍馬をエルサレムから絶えさせる。戦いの弓も絶たれる。彼は諸国の民に平和を告げ、その支配は海から海へ、大河から地の果てに至る。

9:11 あなたについても、あなたとの契約の血のゆえに、わたしはあなたの捕らわれ人を、水の穴から解き放つ。

9:12 望みを持つ捕らわれ人よ、砦に帰れ。わたしは今日もまた告げ知らせる。二倍のものをあなたに返す、と。

9:13 わたしは、ユダをわたしの弓として引き絞り、これにエフライムをつがえたのだ。ヤワンよ、おまえの子らに向かって。シオンよ、わたしはあなたの子らを奮い立たせ、あなたを勇士の剣のようにする。

9:14 【主】は彼らの上に現れ、その矢は稲妻のように放たれる。【神】である主は角笛を吹き鳴らし、南の暴風の中を進まれる。

9:15 万軍の【主】が彼らの盾となる。彼らは石投げの石で滅ぼし、踏みつける。彼らは血をぶどう酒のように飲み、沸き返る。鉢のように、祭壇の四隅のように、満たされる。

9:16 その日、彼らの神、【主】は、彼らをご自分の民の群れとして救われる。まことに、王冠の宝石がその地できらめく。

9:17 なんという主のいつくしみ。なんという主の麗しさ。穀物は若い男たちを、新しいぶどう酒は若い女たちを榮えさせる。

9節からはイスラエルとユダの都エルサレムの回復が記されています。なぜならそこには「あなたの王があなたのところに来る。義なる者で、勝利を得、柔和な者で、ろばに乗って。雌ろばの子である、ろばに乗って。」と記されています。これはまさにイエス様のエルサレム入城の預言です。そしてそれは永遠の救いにつながるものです。

本当の勝利を永遠の救いを第一に求めていきましょう。この世の力づくの勝利者ではなく、神の前での永遠の勝利者となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



25日 土曜

ゼカリヤ



10:1 【主】に雨を求めよ、後の雨の時に。
【主】は稲光を造り、大雨を人々に、野の草をすべての人に下さる。
10:2 テラフィムは不法を語り、占い師は偽りを見る。夢見る者は意味のないことを語り、空しい慰めを与える。それゆえ、人々は羊のようにさまよい、羊飼いがいないので苦しむ。
10:3 「わたしの怒りは羊飼いたちに向かって燃える。わたしは雄やぎを罰する。」万軍の
【主】は、ご自分の群れであるユダの家を訪れ、彼らを戦場の威厳ある馬とされる。
10:4 この群れからかしら石が、この群れから杭が、この群れから戦いの弓が、この群れからすべての指揮する者が、ともどもに出て来る。
10:5 彼らは勇士のようになり、戦場で道端の泥を蹴散らして戦う。【主】が彼らとともにおられるからだ。彼らは馬に乗る者どもを辱める。
10:6 「わたしはユダの家を力づけ、ヨセフの家を救う。わたしは彼らを連れ戻す。わたしが彼らをあわれむからだ。彼らは、わたしに捨てられなかった者のようになる。わたしが彼らの神、【主】であり、彼らに答えるからだ。」
10:7 エフライムは勇士のようになり、その心はぶどう酒に酔ったように喜ぶ。彼らの子らは見て喜び、その心は【主】にあって大いに楽しむ。
10:8 「わたしは合図をして彼らを集める。わたしが彼らを贖ったからだ。彼らは以前のように数を増す。
10:9 わたしは彼らを諸国の民の間にまき散ら

すが、彼らは遠く離れてわたしを思い出し、その子らとともに生き延びて帰って来る。
10:10 わたしは彼らをエジプトの地から連れ帰り、アッシリアから集める。わたしはギルアデの地とレバノンへ彼らを連れて行くが、そこも彼らには足りなくなる。
10:11 彼らは苦難の海を渡る。海では波を打ち破り、ナイル川のすべての淵を涸らす。アッシリアの誇りは低くされ、エジプトの杖は離れ去る。
10:12 わたしは【主】にあって彼らを力づける。彼らは主の名によって歩き続ける。――【主】のことば。」

イスラエルの人々が神様により頼まずに、偶像に走ったので、「空しい慰め」しか与えられず「羊のようにさまよい…」という状態になってしまいました。

一方「万軍の主はご自分の群れであるユダの家を訪れ、彼らを戦場の威厳ある馬のようにされる。」とあるように、神様は単に恵をくださるだけでなく、私たちに強いものとしてくださり、何があっても大丈夫という安心を与えてくださいます。

私たちはかつては困難を極めた所においてさえも、「遠く離れてわたしを思い出し、その子らとともに生き延びて帰って来る。」というように、最終的な勝利が与えられます。

神以外のものを神のように頼るのはやめましょう。私たちを滅びから「贖っ」てくださった神様にこそ希望を置いて、最終的な真の勝利を手に入れましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11:1 レバノンよ、おまえの門を開け。火がおまえの杉の木を焼き尽くす。
11:2 もみの木よ、泣き叫べ。杉の木は倒れ、見事な木々が荒らされたから。パシヤンの樫の木よ、泣き叫べ。深い森が倒れたから。
11:3 牧者たちの嘆きの声がする。彼らの見事な木々が荒らされたから。若い獅子の吼える声がする。ヨルダンの茂みが荒らされたから。
11:4 私の神、【主】はこう言われた。「屠られる羊の群れを飼え。
11:5 これを買った者は、これを屠っても責めを覚えることはなく、これを売る者も、『【主】がほめたたえられるように。私は豊かになった』と言う。その牧者たちは羊をあわれまない。
11:6 それは、わたしがもはや、この地の住民にあわれみをかけないからだ——【主】のことば——。見よ、わたしは、人をそれぞれ隣人の手に、また王の手に渡す。彼らはこの地を打ち砕くが、わたしは彼らの手からこれを救い出さない。」
11:7 私は羊の商人たちのために、屠られる羊の群れを飼った。私は二本の杖を取り、一本を「慈愛」と名づけ、もう一本を「結合」と名づけた。こうして私は群れを飼った。
11:8 私は一月のうちに三人の牧者を退けた。私の心は彼らに我慢できなくなり、彼らの心も私を嫌った。
11:9 私は言った。「私はもう、おまえたちを飼わない。死ぬ者は死ぬ。滅びゆく者は滅びよ。残りの者は、互いに相手の肉を食べるがよい。」
11:10 私は、自分の杖、「慈愛」の杖を取っ

て折った。私が諸国の民すべてと結んだ、私の契約を破棄するためであった。
11:11 その日、それは破棄された。そのとき、私を見守っていた羊の商人たちは、それが【主】のことばであったことを知った。
11:12 私は彼らに言った。「あなたがたの目になかなうなら、私に賃金を払え。もしそうでないなら、やめよ。」すると彼らは、私の賃金として銀三十シケルを量った。
11:13 【主】は私に言われた。「それを陶器師に投げ与えよ。わたしが彼らに値積もりされた、尊い価を。」そこで私は銀三十を取り、それを【主】の宮の陶器師に投げ与えた。
11:14 そして私は、「結合」というもう一本の杖を折った。ユダとイスラエルとの間の兄弟関係を破棄するためであった。
11:15 【主】は私に言われた。「もう一度、愚かな牧者の道具を取れ。
11:16 見よ。それは、わたしが一人の牧者をこの地に起こすからだ。彼は迷い出たものを尋ねず、散らされたものを捜さず、傷ついたものを癒やさず、衰え果てたものに食べ物を与えない。かえて肥えた獣の肉を食らい、そのひづめを裂く。
11:17 わざわいだ。羊の群れを見捨てる、能なしの牧者。剣がその腕と右の目を打ち、その腕はすっかり萎えて、右の目の視力は衰える。」

レバノンとは神殿の木材の産地であり、「杉の木を焼き尽くそう」ということは、神殿が焼き尽くされることを意味します。つまりエルサレムが敵の手によって破壊されるということです。
4節からは神様がイスラエルを見限った様子が記されています。イスラエルの指導者である「牧

者」も利己的であり「私も富みますように」ということしか考えていません。
一方真の牧者である「私」は「彼ら（イスラエル）にがまんできなくなり、見捨てるように「杖を折った」のです。そして「おろかな牧者」が幅を利かせるようになってしまいました。
これら一連のできごとはイスラエルのかたくなさから起こったことです。私たちは主の促しや命令に対してかたくなにならずに、素直な者となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

